

## IV ニーズ調査

# 1 ニーズ調査の実施方法

## (1) 調査対象と調査種類

子育て家庭の生活実態やサービスニーズは子どもの年齢により異なることから、ニーズ調査は大きくは就学前児童（4月1日現在、0歳～5歳）と小学校児童（1年生～6年生）に区分して行うことが望ましい。

また、就学前児童のサービスニーズについては、0歳児、1～2歳児及び3～5歳児の区分で調査結果が把握できるようにすることが望ましい。

さらに、小学校児童については、本来的には全学年を対象とすることが望ましいが、放課後児童健全育成事業のニーズを把握するという観点においては最低限として低学年児童は対象とするべきである。

なお、中学生及び高校生や、特別なニーズを有する層（例えばひとり親家庭など）についても、簡便なアンケート調査やヒアリング等によって、別途サービスニーズを把握することが望ましい。

## (2) 調査対象の抽出

調査対象者の抽出方法としては、当該市町村の人口規模等を勘案して調査対象数を設定して住民基本台帳等を用いて無作為に抽出する抽出調査と、調査対象者全員を対象とする悉皆調査がある。

抽出調査の際には、年齢別・地域別の分析が可能となる規模の調査対象数の設定と、子どもの年齢及び地区で層化した抽出が必要である。サービス需要は子どもの年齢はもちろんのこと、同一市町村の中でも地域によって偏りがあり得るため、地域ごとの集計及び需要算出が必要となるからである。特に人口規模が大きい政令指定都市及び中核市等については、調査対象の抽出、集計及び推計ニーズ量の算出を行政区ごとに行うなどの工夫を要する。なお、調査回答者（子どもの保護者）の負担を軽減する趣旨から、同一世帯に複数の調査票を配布しないように調査対象者の抽出を行うことが必要である。

また、人口規模が小さく児童数が少ない市町村（就学前児童数が概ね1,500人未満）においては、各年齢別の有効回答数が100に満たないことが予測される。したがって、結果の妥当性を確保する趣旨から、悉皆調査もしくは近隣の市町村との共同調査を行うことも検討する必要がある。

### (3) 調査票の配付・回収方法

調査票の配付・回収方法としては以下のようなものが考えられる。

- ① 郵送配付、郵送回収（郵送調査）
- ② 調査員配付、後日調査員回収（留置調査）
- ③ 調査員面接調査（福祉施設等職員、民生・児童委員等）

調査の実施に当たっては、回答者に調査趣旨及び調査主体が明確に伝わるように、首長名や担当部課長名などで挨拶文を付することが必要である。

また、郵送調査の場合は、一定の回収率を確保するために督促状兼礼状等を送付することが望ましい。一方、留置調査、調査員面接調査の場合は、調査項目の設定及び調査員の選定に注意を払う必要がある。

いずれの方法をとる場合においても、個人情報の保護に十分に配慮することが必要である。

### (4) 調査の回答について

調査票の回答は抽出された児童の保護者に依頼する。調査の回答に当たっては、原則として抽出された児童について回答を求める。

なお回答に当たっては、個人を特定する必要はないので、原則無記名とする。

## 2 ニーズ調査項目

### (1) 調査項目の設計にあたっての留意点

定期的な保育等事業等、推計ニーズ量の算出を要するサービスについては、サービスニーズが量的に把握できるよう設計する。その際、モデル調査票の様式に依る必要はないが、目標事業量の数値は国から提供を依頼されることを念頭に置いて調査項目の設計をする必要がある。

また、地域における子育て支援のあり方を広く検討するための基礎資料とするため、保育サービス利用者のみならず地域の子育て家庭一般の生活実態や意識が把握されるよう留意する。中でも、在宅で子育てを行う家庭への支援のあり方や、地域における子育て支援機能の醸成といった観点について検討する際に参考となる情報については重点的に把握に努めることが望ましい。

人口規模や産業構造、サービス供給基盤の状況などの地域特性に応じて調査項目及び選択肢を適宜工夫し、当該市町村において適正であり、かつ回答者が回答しやすい調査となるよう設計に留意する。

以下にモデル調査票を示すが、これはあくまで調査項目の例であるため、市町村の政策的判断により、調査項目及び選択肢の整理や追加、削除、事業名等の表現の変更、記入様式の変更等は自由に行うことができる。

### (2) モデル調査票の種類

調査票及び調査項目については、例として示すモデル調査票を参考とされたい。提示するモデル調査票は以下の2種類である。

①就学前児童用モデル調査票

②小学校児童用モデル調査票

これらのモデル調査票は、推計ニーズ量の把握に必要な項目を中心として提示しているので、それ以外の項目（子どもや世帯の状況の項目、子育て支援環境一般に関する項目）も併せて検討して調査項目を設定するよう留意する。

なお、人口規模が小さく児童数が少ない自治体等で悉皆調査を実施すると、同一世帯で複数の調査票が配付され、回答者の負担が大きくなることも考えられることから、参考までに、世帯を単位とし子ども全員について回答する形式の「悉皆調査用」も示す。

### 3 モデル調査票

(1) 就学前児童用モデル調査票

(2) 小学校児童用モデル調査票

(参考) 就学前児童用モデル調査票 (悉皆調査用)

(参考) 小学校児童用モデル調査票 (悉皆調査用)

# ○×市 次世代育成支援に関するニーズ調査（就学前児童用）

## 【調査ご協力のお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまり誠ありがとうございます。

さて、本市では子育て支援のための施策を実施しておりますが、国において平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、各自治体が次世代育成支援のための具体的な「行動計画」を策定し、平成17年度から実施することになりました。

このため、この度、本市におきましても、行動計画の策定に向けて、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するべく、「○×市次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査は、住民基本台帳の中から就学前のお子さんを無作為に△△△人抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の次世代育成支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他にももれたり他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

○×市長 △△△△

○×市教育委員会教育長 □□□□

## 【ご記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて○月×日(△)までにご投函ください。
8. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

○×市 次世代育成支援対策企画室 担当：○× 電話：123-456-7890

調査の実施責任者の名のもとに、調査の趣旨、活用方法、回答内容の秘密保持に関する事項等を、回答者に分かりやすく記載すること。挨拶状は別紙としてもよい。

調査全般にわたって記入にあたって留意すべき事項を明記すること。同時に、調査に関する問い合わせ先を明記すること。

**封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。**

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月月をご記入ください。平成( )年( )月生まれ

問2 すべてのお子さん(封筒のあて名のお子さんを含む)について、平成15年4月1日現在の年齢をご記入ください。お子さんが6人以上いらっしゃる場合は欄外にお書きください。

第1子( )歳 第2子( )歳 第3子( )歳 第4子( )歳 第5子( )歳

問3 あて名のお子さんと同居されている方すべてに○をおつけください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。また同居している家族全員(ご両親とお子さんを含む)の人数をご記入ください。

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹 4. 祖母 5. 祖父 6. その他 家族全員( )人

問4 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方としてあてはまるもの1つに○をおつけください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

1. 主に母親 2. 主に父親 3. 主に祖父母 4. その他

問5 お住まいの地区としてあてはまるもの1つに○をおつけください。

1. ○○ 2. ○○ 3. ○○ 4. ○○  
5. ○○ 6. ○○ 7. ○○ 8. ○○

調査対象世帯の状況を把握するためのフェイス項目群。クロス集計に活用する場合も多いため、当該自治体の問題意識に応じて取捨選択すること。

あて名の子どもの年齢を把握。年齢別の推計ニーズ量を算出する際に活用。

世帯の子どもの人数及び年齢層を把握。クロス集計に活用。

家族内サポートの可能性という観点から、同居の祖父母等の有無を把握。核家族か三世帯家族か、またひとり親か否かを区別する。クロス集計に活用。

保育等のニーズの発生に最も影響が大きい保護者を特定。

保育等のニーズを地区別に推計するために把握。回答者が答えやすい地区名(住所地でもよい)を示し、集計段階で行政の地区区分に整理するなどの工夫が必要。

**あて名のお子さんの平日の保育について、希望をおうかがいします。**

問6 平日、あて名のお子さんについて、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望が現在ありますか。

- ※現在の利用の有無に関係なく、また実際にサービスが利用可能な時間帯（例：保育所の開所時間）に関係なく、お答えください。
- ※保育サービスなどは、保育所、幼稚園、認可外保育施設、ベビーシッター、ファミリーサポートセンター事業などを指しますが、親族・知人による預かりなどは含みません。
- ※曜日や時間帯によって異なるサービスを利用したい場合は、下の【第2欄】にもご記入ください。
- ※(2)の希望の時間帯は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- ※保育サービスなどの利用料などは別紙のとおりであり、それを踏まえてお答えください。

<p>(1)利用したいですか？ (1つに○)</p> <p>1. 利用したい → 週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/></p> <p>2. 利用希望はない</p>	<p>(2)希望の時間帯は？ (24時間制で)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>時</td> <td>分</td> <td>から</td> </tr> <tr> <td>時</td> <td>分</td> <td>まで</td> </tr> </table> <p>(現在利用中の時間帯も含む)</p>	時	分	から	時	分	まで	<p>(3)主な希望サービスは？ (最も望ましいサービス1つに○)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所</li> <li>2. 幼稚園</li> <li>3. 認証・認定の保育施設</li> <li>4. 家庭福祉員(保育ママ)</li> <li>5. 事業所内保育施設</li> <li>6. その他認可外保育施設</li> <li>7. ベビーシッター/家政婦</li> <li>8. ファミリーサポートセンター</li> </ol>	<p>(4)お子さんを預けたい理由は？ → 問7へ、または第2欄へ (主な理由1つに○)</p> <p><u>主な保護者が、</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現在就労している</li> <li>2. 就労予定がある/求職中である</li> <li>3. そのうち就労したいと考えている</li> <li>4. 就労していないが、子どもを預けたい</li> <li>5. 家族・親族などを介護しなければならない</li> <li>6. 病気や障害を持っている</li> <li>7. 学生である/就学したい</li> <li>8. その他( )</li> </ol>
時	分	から							
時	分	まで							

↓ 問7へ

【第2欄】 ※曜日や時間帯によって、上で記入したものと異なるサービスを利用したい場合のみ、ご記入ください。

<p>(1)利用希望日数は？</p> <p>週 <input type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/></p>	<p>(2)希望の時間帯は？ (24時間制で)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>時</td> <td>分</td> <td>から</td> </tr> <tr> <td>時</td> <td>分</td> <td>まで</td> </tr> </table> <p>(現在利用中の時間帯も含む)</p>	時	分	から	時	分	まで	<p>(3)第2の希望サービスは？ → 問7へ (望ましいサービス1つに○)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>1. 保育所</td> <td>2. 幼稚園</td> </tr> <tr> <td>3. 認証・認定の保育施設</td> <td>4. 家庭福祉員(保育ママ)</td> </tr> <tr> <td>5. 事業所内保育施設</td> <td>6. その他認可外保育施設</td> </tr> <tr> <td>7. ベビーシッター/家政婦</td> <td>8. ファミリーサポートセンター</td> </tr> </table>	1. 保育所	2. 幼稚園	3. 認証・認定の保育施設	4. 家庭福祉員(保育ママ)	5. 事業所内保育施設	6. その他認可外保育施設	7. ベビーシッター/家政婦	8. ファミリーサポートセンター
時	分	から														
時	分	まで														
1. 保育所	2. 幼稚園															
3. 認証・認定の保育施設	4. 家庭福祉員(保育ママ)															
5. 事業所内保育施設	6. その他認可外保育施設															
7. ベビーシッター/家政婦	8. ファミリーサポートセンター															

平日の保育ニーズを把握。特に保育所に対するニーズとしては、通常保育事業、延長保育事業、夜間保育事業、トワイライトステイ事業、特定保育事業のニーズを把握することができる。主な希望サービスについては、地域のサービス資源を勘案し、当該自治体の独自施策も含める等、選択肢を工夫することが必要。なお、複数のサービスの利用希望までを把握する場合には、第2欄も活用する。

別紙として、保育サービス等（保育所、幼稚園、ファミリーサポートセンター事業等）の利用料等の金額の一覧を添付する。



**あて名のお子さんについて、平日の保育状況(現状)をおうかがいします。**

問7 現在、平日において、あて名のお子さんについて保育サービスなどを利用していますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

1. 保育サービスなど(幼稚園、認可外保育施設、ベビーシッター、家政婦及びファミリーサポートセンター事業を含む)を利用したり、親族・知人に預けている	→問8へ
2. 保育サービスなどを利用せず、親族・知人にも預けていない	→問12へ

保育サービス等の利用の有無を把握。

問8 現在、あて名のおさんは、平日に保育所、幼稚園に通っていますか。

(1)通っていますか? 1. 通っている → 週 日 2. 通っていない	(2)時間帯は? 時 分 分から 時 分 分まで (24時間制で)	(3)通っている先は? 1. 保育所 → 問9へ 2. 幼稚園	(4)今後の意向は? → 問9へ 1. 保育所に預けたい 2. 今のままでよい/その他
--	--	---------------------------------------	---

保育所に通っている人の保育実態を把握。

問9 現在、あて名のおさんは、平日に認可外保育施設に通っていますか。

(1)通っていますか? 1. 通っている → 週 日 2. 通っていない	(2)時間帯は? 時 分 分から 時 分 分まで (24時間制で)	(3)通っている先は? 1. 認証・認定の保育施設 2. 家庭福祉員(保育ママ) 3. 事業所内保育施設 4. その他認可外保育施設	(4)今後の意向は? → 問10へ 1. 保育所に預けたい 2. 今のままでよい/その他
--	--	--	--

認可外保育施設に通っている人の保育実態を、その種類別に把握。選択肢については、当該自治体におけるサービス資源により工夫が必要。

問10 現在、あて名のおさんは、平日にベビーシッター、家政婦、ファミリーサポートセンター事業などを利用していますか。

※(2)の時間帯が2つに分かれる場合は右端(2)'欄もご使用ください。

(1)利用していますか? 1. 利用している → 週 日 2. 利用していない	(2)時間帯は? 時 分 分から 時 分 分まで (24時間制で)	(3)利用しているものは? 1. ベビーシッター 2. 家政婦 3. ファミリーサポートセンター	(4)今後の意向は? → 問11へ 1. 保育所に預けたい 2. 今のままでよい/その他	(2)' 時間帯(予備欄) 時 分 分から 時 分 分まで
---	--	---	--	-------------------------------------

ベビーシッター等を利用している人の保育実態を、その種類別に把握。選択肢については、NPOやボランティア等の非営利組織や、ファミリー・サポート・センター事業も含めるなど、当該自治体に存在するサービスを、利用者に分かる名称で示す等の工夫が必要。

問 11 現在、あて名のお子さんを、平日に親族や知人に預けていますか。

※(2)の時間帯が2つに分かれる場合は右端(2)'欄もご使用ください。

(1) 預けていますか？ 1. 預けている → 週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 2. 預けていない	(2) 時間帯は？ 時 <input type="text"/> 分から 時 <input type="text"/> 分まで (24時間制で)	(3) 預けている相手は？ 1. 同居している親族 2. 別居している親族 3. 知人	(4) 今後の意向は？ 1. 保育所に預けたい 2. 今のままでよい/その他	(2)' 時間帯 (予備欄) 時 <input type="text"/> 分から 時 <input type="text"/> 分まで
---	--	--	--	---

現在、保育所を利用している方 ⇒ 問 13 へお進みください。  
 現在、保育所を利用していない方 ⇒ 問 12 にお答えください。

親族や知人にみてもらっている人の保育実態を把握。

64

問 12 【現在、保育所を利用していない方におうかがいします】

保育所を利用していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をおつけください。

1. その必要がないから	2. 利用資格がないから(非就労など)	3. 定員に空きがないから	4. 近くに保育所がないから
5. 利用時間が合わないから	6. 利用料が高いから	7. その他( )	

「問8～問11の(4)今後の意向」及び問12と「問6の保育サービス希望」とのクロス集計により、保育所以外の保育サービス等を利用している人で、保育所へのシフトニーズを有する人の状況等を把握。

**あて名のお子さんの土・休日の保育について、希望をおうかがいします。**

問 13 土曜日と日曜日・祝日、あて名のお子さんについて、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望が現在ありますか。

※現在の利用の有無に関係なく、また実際にサービスが利用可能な時間帯（例：保育所の開所時間）に関係なく、お答えください。

※保育サービスなどは、保育所、幼稚園、認可外保育施設、ベビーシッター、ファミリーサポートセンター事業などを指しますが、親族・知人による預かりなどは含みません。

※保育サービスなどの利用料などは別紙のとおりであり、それを踏まえてお答えください。

土曜日		日曜日・祝日	
(1)利用したいですか？ (1つに○)	(2)利用したい時間帯は？ (24時間制で)	(1)利用したいですか？ (1つに○)	(2)利用したい時間帯は？ → 下の★へ (24時間制で)
1. ほぼ毎週利用したい	時 分から	1. ほぼ毎週利用したい	時 分から
2. 月1～2日利用したい	時 分まで	2. 月1～2日利用したい	時 分まで
3. 利用希望はない	(現在利用中の時間も含む)	3. 利用希望はない	(現在利用中の時間も含む)
			下の★へ

土曜日及び日曜日・休日の保育ニーズを把握。

別紙として、保育サービス等（保育所、幼稚園、ファミリーサポートセンター事業等）の利用料等の金額の一覧を添付する。

★現在、保育所、幼稚園、認可外保育施設（認定・認証保育施設や事業所内保育施設を含む）を利用している方 ⇒ 問 14 にお答えください。

★現在、保育所、幼稚園、認可外保育施設（認定・認証保育施設や事業所内保育施設を含む）を利用していない方 ⇒ 問 16 へお進みください。

**あて名のお子さんが保育所、幼稚園、認可外保育施設に通っている方に、お子さんが病気の時の対応についておうかがいします。**

問 14 [現在、保育所、幼稚園、認可外保育施設を利用している方におうかがいします]

この1年間に、お子さんが病気で保育所、幼稚園、認可外保育施設（認定・認証保育施設や事業所内保育施設を含む）を休まなければならなかったことはありましたか。

(1)ありましたか？ (1つに○)	(2)この1年間の対処方法とそれぞれの日数は？ (あてはまるものすべてに○、それぞれ日数を記入)	(3)その場合の困難度は？ → 問 15 へ (それぞれ主な場合1つに○)
1. あった	1. 父親または母親が仕事を休んだ	1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難でもない
2. なかった	2. (同居者を含む)親族・知人に預けた	1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難でもない
	3. 保育サービス(※右下注参照)を利用した	
	4. 仕方なく子連れで仕事をした(出勤・在宅とも)	
	5. 仕方なく子どもだけで留守番させた	問 15 へ
	6. 就労していない保護者が自宅のみ	
	7. その他( )	※病後児保育を実施している施設による預かりやベビーシッターなど

問 15 へ

乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）の推計ニーズ量の算出のための項目。子どもが病気だった場合の対処方法及び日数、さらに保護者もしくは親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ量の算出にあたって優先順位を付ける際に活用。

設問の方法としては、住民に対してサービスの内容・対象者・利用料等を明らかにした上で、サービス利用の希望等を調査し、その結果をもとに推計ニーズ量を算出する方法もある。

すべての方に、あて名のお子さんの一時預かりのこについておうかがいします。

問15 【すべての方にうかがいします】

この1年間に、平日/土・休日に関係なく、緊急の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)で、あて名のお子さんの面倒を普段みている方が、日中倒をみられなくなったことはありましたか。

(1)ありましたか? (1つに○)	(2)この1年間の対処方法とそれぞれの日数は? (あてはまるものすべてに○、それぞれ日数を記入)	(3)その場合の困難度は? → 問16へ (それぞれ主な場合1つに○)
1. あった	1. 配偶者が面倒をみた [ ] 日	1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難でもない
2. なかった	2. (同居者を含む)親族・知人に預けた [ ] 日	1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難でもない
	3. 保育サービス(※右下注参照)を利用した [ ] 日	
	4. 仕方なく子どもも同行させた [ ] 日 → 問16へ	
	5. 仕方なく子どもだけで留守番させた [ ] 日	
	6. その他( ) [ ] 日 ※保育所、認可外保育施設、ベビーシッター、ファミリーサポートセンターなど	

問16 【すべての方にうかがいします】

この1年間に、保護者の用事などによりあて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

(1)ありましたか? (1つに○)	(2)この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は? (あてはまるものすべてに○、それぞれ泊数を記入)	(3)その場合の困難度は? → 問17へ (主な場合1つに○)
1. あった	1. (同居者を含む)親族・知人に預けた [ ] 泊	1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難でもない
2. なかった	2. 保育サービス(※右下注参照)を利用した [ ] 泊	
	3. 仕方なく子どもも同行させた [ ] 泊 → 問17へ	
	4. 仕方なく子どもだけで留守番させた [ ] 泊	
	5. その他( ) [ ] 泊 ※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど	

問17へ

一時保育の推計ニーズ量の算出のための項目。緊急の用事のために一時保育を必要とした場合の対処方法及び日数、さらに保護者もしくは親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ量の算出にあたって優先順位を付ける際に活用。

ショートステイの推計ニーズ量の算出のための項目。ショートステイを必要とした場合の対処方法及び日数、さらに親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ量の算出にあたって優先順位を付ける際に活用。

設問の方法としては、住民に対してサービスの内容・対象者・利用料等を明らかにした上で、サービス利用の希望等を調査し、その結果をもとに推計ニーズ量を算出する方法もある(問15、16共通)。

子育て支援サービスの認知度・利用意向についておうかがいします。

問17 【すべての方におうかがいします】

下記の①～⑭のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思えますか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をおつけください。

サービスの種類	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
①母親学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの情報・相談サービス	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥つどいの広場（※身近な地域における親子のつどいの場）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦地域子育て支援センター（※身近な地域における相談や親同士の交流の場）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧児童館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨ファミリーサポートセンター（※会員制による市民の一時預かりを中心とした相互援助活動）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩家庭児童相談室（※市の子育て○○課にある子育ての総合相談窓口）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪市が発行している子育て情報誌	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫○○○○	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑬○○○○	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

個別具体的なサービスの認知状況や利用実態、利用意向等について把握。当該自治体独自の事業、さらには今後の施策や事業展開の方針等を踏まえ、選択肢に工夫が必要。

○○についておうかがいします。

※ニーズ把握のための設問は以上です。以下は、保育サービスなどの利用満足度や子育て一般に関する意識・要望などに関する設問を、各市区町村で任意に加えてください。参考に設問項目案および選択肢案を別掲します。なお保育サービスなどの利用満足度に関する設問については、施設などを通じて利用者の方に別の調査を行うことも可能です。

# ○×市 次世代育成支援に関するニーズ調査（小学校児童用）

## 【調査ご協力のお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、本市では子育て支援のための施策を実施しておりますが、国において平成 15 年 7 月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、各自治体が次世代育成支援のための具体的な「行動計画」を策定し、平成 17 年度から実施することになりました。

このため、この度、本市におきましても、行動計画の策定に向けて、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するべく、「○×市次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査は、住民基本台帳の中から小学生のお子さんを無作為に△△△人抽出し、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の次世代育成支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他にもれたり他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査の実施責任者の名のもとに、調査の趣旨、活用方法、回答内容の秘密保持に関する事項等を、回答者に分かりやすく記載すること。挨拶状は別紙としてもよい。

○×市長 △△△△

○×市教育委員会教育長 □□□□

## 【ご記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名の**お子さん**についてご記入ください。
2. アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
3. ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合**がございます。
4. 選択肢の場合、**お選びいただく数**が設問によって**異なります**ので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある( )内に**具体的な内容**をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24 時間制**（例：午後 6 時→18 時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。  
特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の**逓信用封筒**に入れて○月×日(△)までにご投函ください。
8. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

○×市 次世代育成支援対策企画室 担当：○× 電話：123-456-7890

調査全般にわたって記入にあたって留意すべき事項を明記すること。同時に、調査に関する問い合わせ先を明記すること。

調査対象世帯の状況を把握するためのフェイス項目群。クロス集計に活用する場合も多いため、当該自治体の問題意識に応じて取捨選択すること。

あて名の子どもを把握。学年別の推計ニーズ量を算出する際に活用。

世帯の子どもの人数及び年齢層を把握。クロス集計に活用。

家族内サポートの可能性という観点から、同居の祖父母等の有無を把握。核家族か三世代家族か、またひとり親か否かを区別する。クロス集計に活用。

保育等のニーズの発生に最も影響が大きい保護者を特定。

保育等のニーズを地区別に推計するために把握。回答者が答えやすい地区名（住所地でもよい）を示し、集計段階で行政の地区区分に整理するなどの工夫が必要。

**封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。**

問1 封筒のあて名のお子さんの学年をご記入ください。 小学( )年生

問2 すべてのお子さん（封筒のあて名のお子さんを含む）について、平成15年4月1日現在の年齢をご記入ください。お子さんが6人以上いらっしゃる場合は欄外にお書きください。

第1子( )歳	第2子( )歳	第3子( )歳	第4子( )歳	第5子( )歳
---------	---------	---------	---------	---------

問3 あて名のお子さんと同居されている方すべてに○をおつけください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。また同居している家族全員(ご両親とお子さんを含む)の人数をご記入ください。

1. 母親	2. 父親	3. 兄弟姉妹	4. 祖母	5. 祖父	6. その他	家族全員( )人
-------	-------	---------	-------	-------	--------	----------

問4 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方としてあてはまるもの1つに○をおつけください。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

1. 主に母親	2. 主に父親	3. 主に祖父母	4. その他
---------	---------	----------	--------

問5 お住まいの地区としてあてはまるもの1つに○をおつけください。

1. ○○	2. ○○	3. ○○	4. ○○
5. ○○	6. ○○	7. ○○	8. ○○

**あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望をおうかがいします。**

問6 あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望が現在ありますか。

※現在の利用の有無に関係なく、また実際にサービスが利用可能な時間帯(例:放課後児童クラブの開所時間)に関係なく、お答えください。  
 ※放課後児童クラブの利用料は別紙のとおりであり、それを踏まえてお答えください。

平日	(1)利用したいですか? (1つに○)	(2)希望の時間帯は? (24時間制で)	(3)利用したい理由は? (主な理由1つに○)
	1. 週4日以上利用したい 2. 週1~3日利用したい 3. 利用希望はない	[ ] 時 [ ] 分から [ ] 時 [ ] 分まで (現在利用中の時間も含む)	主な保護者が、 1. 現在就労している 2. 就労予定がある/求職中である 3. そのうち就労したいと考えている 4. 就労していないが、利用したい 5. 家族・親族などを介護しなければならない 6. 病気や障害を持っている 7. 学生である/就学したい 8. その他( )
土曜日	(1)利用したいですか? (1つに○)	(2)希望の時間帯は? (24時間制で)	
	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月1~2日利用したい 3. 利用希望はない	[ ] 時 [ ] 分から [ ] 時 [ ] 分まで (現在利用中の時間も含む)	

放課後児童クラブの平日及び土曜日のニーズを把握。

別紙として、放課後児童クラブの利用料の金額を添付する。

**あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用状況(現状)をおうかがいします。**

問7 あて名のおさんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。平日・土曜日それぞれについてご記入ください。

平日		土曜日	
(1)利用していますか? (1つに○)	(2)利用している時間帯は? (24時間制で)	(1)利用していますか? (1つに○)	(2)利用している時間帯は? (24時間制で)
1. 週4日以上利用している 2. 週1~3日利用している 3. 利用していない	[ ] 時 [ ] 分から [ ] 時 [ ] 分まで (現在利用中の時間も含む)	1. ほぼ毎週利用している 2. 月1~2日利用している 3. 利用していない	[ ] 時 [ ] 分から [ ] 時 [ ] 分まで (現在利用中の時間も含む)

放課後児童クラブの利用状況を把握。



すべての方に、あて名のお子さんの一時預かりのこについておうかがいします。

問8 【すべての方におうかがいします】

この1年間に、保護者の用事などによりお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

(1)ありましたか? (1つに○)	(2)この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は? (あてはまるものすべてに○、それぞれ泊数を記入)	(3)その場合の困難度は? → 問9へ (主な場合1つに○)
1. あった	1. (同居者を含む)親族・知人に預けた <input type="checkbox"/> 泊	1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難でもない
2. なかった	2. 保育サービス(※右下参照)を利用した <input type="checkbox"/> 泊	
	3. 仕方なく子どもも同行させた <input type="checkbox"/> 泊	
	4. 仕方なく子どもだけで留守番させた <input type="checkbox"/> 泊 → 問9へ	
	5. その他( ) <input type="checkbox"/> 泊 ※ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど	

問9へ

ショートステイの推計ニーズ量の算出のための項目。ショートステイを必要とした場合の対処方法及び日数、さらに親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ量の算出にあたって優先順位を付ける際に活用。

設問の方法としては、住民に対してサービスの内容・対象者・利用料等を明らかにした上で、サービス利用の希望等を調査し、その結果をもとに推計ニーズ量を算出する方法もある。

**子育て支援サービスの認知度・利用意向についておたがわいします。**

**問9 【すべての方におたがわいします】**

下記の①～⑬のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか、サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をおつけください。

サービスの種類	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親学級、両親学級、育児学級	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
②保健センターの情報・相談サービス	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑥つどいの広場(※身近な地域における親子のつどいの場)	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑦地域子育て支援センター(※身近な地域における相談や親同士の交流の場)	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑧児童館	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑨ファミリーサポートセンター(※会員制による市民の一時預かりを中心とした相互援助活動)	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑩家庭児童相談室(※市の子育て○○課にある子育ての総合相談窓口)	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑪市が発行している子育て情報誌	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑫○○○○	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ
⑬○○○○	はい  いいえ	はい  いいえ	はい  いいえ

個別具体的なサービスの認知状況や利用実態、利用意向等について把握。当該自治体独自の事業、さらには今後の施策や事業展開の方針等を踏まえ、選択肢に工夫が必要。

**○○についておたがわいします。**

※ニーズ把握のための設問は以上です。以下は、放課後児童クラブなどの利用満足度や子育て一般に関する意識・要望などに関する設問を、各市区町村で任意に加えてください。参考に設問項目および選択肢案を別掲します。なお放課後児童クラブなどの利用満足度に関する設問については、施設などを通じて利用者のみで別の調査を行うことも可能です。